

平成30年度第1回富里市健康づくり推進審議会 会議録

日 時	平成30年6月1日（金）13：15から14：00
場 所	富里市保健センター（すこやかセンター内）2階健診準備室
出席委員	中原会長，内田副会長，篠崎委員（代理），葉山委員，川嶋委員，石井委員，丹委員，半田委員，三橋委員，石橋委員
事務局	健康福祉部長，健康推進課長，健康推進課員（藤城・原・小田）

【委嘱状交付】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 富里市長 あいさつ

【会議】

- ・ 審議会における所掌事項について
- ・ 会長，副会長選出
- ・ 議題 富里市健康意識アンケート調査（案）について
その他

〔会議概要〕

藤田課長	<p>皆さま本日はご多用のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 ございます。 定刻を少し過ぎましたが、健康づくり推進審議会委員の委嘱状の交付を行います。</p>
尾崎健康福祉部長	<p>委嘱状 中原正男様 富里市健康づくり推進審議会委員を委嘱します 期間は平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までとします</p> <p>平成 30 年 4 月 1 日 富里市長 相川堅治</p>
市長より委嘱状交付	<ol style="list-style-type: none"> 1 中原正男 様 (なかはら まさお さま) 2 内田啓二 様 (うちだ けいじ さま) 3 篠崎久美 様 (しのざき くみ さま) 4 葉山憲一 様 (はやま けんいち さま) 5 川嶋治男 様 (かわしま はるお さま) 6 石井功治 様 (いしい こうじ さま) 7 丹 さく子 様 (たん さくこ さま) 8 半田晴一 様 (はんだ せいいち さま) 9 三橋芳子 様 (みつはし よしこ さま) 10 石橋猛朗 様 (いしばし たけお さま)
藤田課長	<p>続きまして、富里市長相川堅治様より、お言葉を頂戴したいと存じます。相川市長よろしくお願ひします。</p>
相川市長	<p>(相川市長あいさつ)</p> <p>お忙しい中、集まっていたのに時間に遅れまして誠に申し訳ありませんでした。皆さんが、今委嘱状を交付しましたけれども、それぞれがそれぞれの立場で、そして専門的にやっておられる方、あるいはチームを作ってやられている方、あるいはウォーキングの指導をしておられる方、みんなそれぞれが健康に関係のある皆さんでありますので、これから富里市が高齢化時代をもう迎えております。しかも今日、一般質問の答弁の打ち合わせをやっているんですけども、一人暮らしが 9,000 戸あるそうであります。しかし、非常に特殊なのは富里は若い人の一人暮らしが多い、要するにアパートが多いんですね。で、65 歳以上は 20 何%かな、あるようでございます。これからはこの高齢者の一人暮</p>

	<p>らしがどんどん増えるんじゃないかなというふうに私自身も心配をしている一人でございます。皆様方がどうか活躍をしていただいて富里市民の健康のために、日頃皆さんの持っている知恵や皆さんの持っている力をぜひ発揮していただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。どうもご苦労様です。</p>
<p>藤田課長</p>	<p>ありがとうございました。 本日は、尾崎健康福祉部長にもご臨席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p>
<p>尾崎健康福祉部長</p>	<p>(尾崎部長、自己紹介) 尾崎でございます。よろしく願いいたします。</p>
<p>藤田課長</p>	<p>ありがとうございました。 これをもちまして、健康づくり推進審議会委員委嘱状の交付を終了いたします。このあと、引続き健康づくり推進審議会を行います。相川市長、尾崎部長におかれましては、公務のため、ここで退席となります。ありがとうございました。</p>
<p>相川市長</p>	<p>では、よろしく願いします。(相川市長、尾崎部長 退室)</p>
<p>事務局(原)</p>	<p>それでは、ただ今から「平成 30 年度第 1 回富里市健康づくり推進審議会」を開会いたします。進行を務めさせていただきます、健康推進課予防班の原と申します。どうぞよろしく願いいたします。 それでは、次第に沿って進めさせていただきますが、ここで傍聴についてご説明させていただきます。 こちらの傍聴要領は市の情報公開条例に基づき、地方自治法の規定等により執り行われている市の付属機関や、要綱、規則等により設置されている審議会などが対象となります。会議の内容につきましては後々、所定の手続きによって開示、また、組織自らホームページ等で公開するという形になっております。 健康づくり推進審議会におきましても、原則公開となっておりますことから、今回は傍聴希望者がありませんが、以後の会議につきましても公開という形にさせていただきます。</p>

<p>藤田課長</p>	<p>次に、本日の出席についてでございますが、健康づくり審議会設置条例に基づく構成員 11 名のところ、本日は 10 名の委員の皆様のご出席をいただきましたことから、条例第 6 条第 2 項に基づき定数の過半数を満たしておりますので、本日の会議が成立いたしますことを、報告させていただきます。</p> <p>続きまして、審議会における所掌事項について、藤田課長より説明いたします。</p> <p>それではよろしくお願いたします。着座にて説明させていただきます。申し遅れましたが、今年度より健康推進課長となりました藤田でございます。皆様どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>お手元の資料番号 1，設置条例の資料がございますが、こちらのほうをお手元にお願いたします。</p> <p>健康づくり推進審議会につきましては、市民の総合的な健康づくり対策を積極的に推進するために設置され、平成 29 年 12 月議会において条例化をされたものでございます。</p> <p>会の所掌事項といたしましては、こちらの第 2 条に掲げてありますとおり、健康増進計画に関すること、健康増進事業に関すること、母子保健事業に関すること、健康づくりに関する知識の普及及び啓発に関すること、その他市民の健康増進に関することとしております。なお、こちらの審議会は市の諮問機関として位置づけがございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、様々な角度からご意見をいただき、市民の総合的な健康づくり施策を積極的に推進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>事務局（原）</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、会長、副会長の選出となります。</p> <p>条例第 5 条第 1 項に、この審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定めるとなっております。</p> <p>今回の会議は審議会となって第 1 回目ですので、会長、副会長の選出にあたり、健康推進課長の藤田にて仮議長を務めさせていただきたいと思っておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>「異議なし」の声多数</p>

<p>藤田課長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、藤田課長お願いいたします。</p> <p>それでは、仮議長のほうを務めさせていただきます。</p> <p>今年度は、健康増進計画第2次を策定するにあたり、会議の回数も多くなることから、皆様のほうへご負担をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは会長、副会長の選任ということですが、皆様よりご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。特に皆様からご意見が無いようですが、よろしいでしょうか。無いようですと事務局のほうに意見を求める形ですが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局より案のほうをお願いいたします。</p>
<p>事務局（藤城）</p>	<p>はい。健康推進課の藤城と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会長、副会長の選任にあたりまして、事務局のほうからご提案をさせていただきたいと思えます。皆様、お手元にこの会の名簿がお持ちだと思えるのですが、事務局案といたしまして、名簿番号1番のですね、富里市医師連絡協議会代表でございます、中原医院院長 中原正男様を会長に、また副会長には、名簿番号2番 富里市歯科医師連絡協議会代表 内田歯科医院院長 内田啓二様 副会長ということでご提案させていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>藤田課長</p>	<p>ただ今、事務局案として会長に中原委員、副会長に内田委員という提案がありました。このことについて皆様から何かご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>(意義なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、提案どおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>よろしいですか。それでは異議なしと認め、会長に中原委員、副会長に内田委員とすることに決定いたします。</p> <p>以上を持ちまして、会長、副会長が決定いたしましたので、ここで仮議長の職を降り、事務局へお返しをいたします。</p> <p>皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

事務局（原）	<p>ありがとうございました。それでは議題に入る前に、中原会長にご挨拶いただければと思います。中原会長よろしく申し上げます。</p>
中原会長	<p>（中原会長あいさつ） よろしくお願いいたします。この会が少しでも健康づくりの推進に役立つような会になればと思いますので、皆様の協力をお願いします。</p>
事務局（原）	<p>ありがとうございます。それでは引き続き議題に移らせていただきますが、条例第6条第1項に会長が議長となると明記されておりますので、中原会長、議長席へ移っていただき議事進行をお願いいたします。</p>
中原会長	<p>それでは、議題に入りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>議題（1）富里市健康意識アンケート調査（案）について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局（藤城）	<p>※資料に基づき説明。</p> <p>アンケートにつきまして、事務局で説明をさせていただきたいと思っております。大変申し訳ございませんが、着座にてご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>今回皆様にですね、事前に富里市健康意識アンケート調査のお願い（案）ということで、お配りさせていただいた資料があると思っておりますが、こちらをご覧になりながら、ご説明させていただけたらと思っております。このアンケートにつきまして、前回、現在の<u>健康増進計画</u>を策定した当時、平成25年度になりますが、その時のアンケートをベースにですね、今回のアンケートについて作成してみました。今回は、健康増進計画第二次に加えてですね、その中に自殺対策推進計画、および第二次食育推進計画を盛り込む形で作成をさせていただきたいという風に考えております。</p> <p>アンケートのほう、恐れ入ります、9ページご覧いただけたらと思っております。まず大きく今回アンケートに加えさせていただいた内容といたしまして、先ほどもご説明しましたが、自殺対策推進計画を盛り込むというような考えのもとにですね、ここに自殺対策について　　ということで、市民の皆様からご意見を頂戴できればということで、9ページ11ページというところで、両面にわたりその項目を加えさせていただいております。こちらにつきましては、国で実施いたしました、自殺対策に関するアンケート、また他市町村のアンケートなどをもとにしてです</p>

ね、こちら参考とさせていただきながら、今回の自殺対策についてという項目を作成させていただいております。

恐れ入ります、少し戻りまして4ページをお願いできればと思います。今回、第二次になりますが、食育推進計画も盛り込むことから、この4ページの10番がございますけれども、この10番につきましては以前から、前回もあった質問ですけれども、その下 問10-1とございます、こちら朝食に関する欠食につきましてですね、その理由というものを詳しく伺ってみたいということで、今回こちらの設問を追加させていただいております。その横5ページに移りまして、問14ですね、また問14-1ということで設問がございますが、その食育計画を策定するにあたって、参考とさせていただくために、こちら栄養成分の表示についてどのくらいの意識をもって皆さん生活をされているのかということで、こちら加えさせていただいている内容でございます。

続きまして、6ページ、一枚めくっていただいて6ページになりますが、一番下、下段になります、こちらに問17という設問がありまして、こちら食べ物ですね、野菜などを購入する際に産地などを気にしていますかという設問、こちらは前回からあるものなんですけれども、その下 問17-1、地産地消に関するですね、細かい点でどのくらいの意識をされているのか、また、意識して購入しているのかというところの設問を加えさせていただいております。その他にもいくつか、文言を整理させていただいたり、多少修正させていただいた箇所はございますが、前回のアンケートからですね5年経ちまして、市民の皆様がどのくらい意識の変化があったのかということも、私どもそこら辺も参考とさせていただきたいということもございまして、ベースとなる前回のところ、今ご説明させていただいた部分以外のところは、なるべく前回のアンケートの内容そのまま使わせていただけたらというふうに思いますので、よろしくご審議の程、お願いいたします。説明のほうは以上です。

中原会長

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について何かご意見がございましたら、お願いいたします。

何かありませんでしょうか。

三橋委員

すいません。このアンケートなんですけど、1000人の方っていうのは、年齢の、例えば何歳以上1000人の中の1000人っていうのがありますか。

中原会長	はい、どうぞ。
事務局（藤城）	はい。年齢につきましては、前回もそうだったんですが、今回も住民登録をされている富里市民の方の中で、20歳以上の方というところで無作為抽出をさせていただきたいというふうに考えております。以上です。
中原会長	よろしいでしょうか。他に何かございますでしょうか。
石橋委員	前回の調査はやはり1000人を対象であったのかどうかということと、そして回収率ですね、もし1000人だったらどのくらいの回収率で、あの回答が来たのかっていうことを知りたいと思いますので、よろしくをお願いします。
事務局（藤城）	前回の調査、25年度に実施させていただいておりますが、発送した件数につきましては、同じく1000件発送させていただきまして、回収ということで戻ってきましたのは、そのうち303件、おのずと回収率につきましては30.3%というような結果が、前回の結果でございます。以上です。
石橋委員	ありがとうございます。
中原会長	よろしいでしょうか。
石橋委員	はい。
中原会長	他に何かございますでしょうか。
半田委員	富里市の対象年齢、今言われた方、分の回収率が300人で、それで富里全体をみて大丈夫ですか。
事務局（藤城）	先ほど、今回のアンケートの中で自殺対策の部分で追加させていただいた項目を参考にさせていただいたのは、国のほう、厚生労働省のほうで実施されたアンケートなんですけれども、国で行う際にも3000件というところで実施しているところがございますので、富里市民というようなところで対象とする件数にいたしましては、私どもとしては、1000件で充分かなというふうに考えております。以上です。
中原会長	よろしいでしょうか。

半田委員	結果は300だよね。
事務局（藤城）	3000件です。
三橋委員	いや、1000件のうち300ですよ。
半田委員	1000件戻ってくればね。300だと全対象に対して300で大丈夫なのかなと。
事務局（藤城）	失礼いたしました。すいませんでした。実質的にですね、これが多いか少ないかというご質問になりますと、やはり少し少ないかなというところがございます。私どもも今回、色々な方向でですね、検討させていただいてる中ですが、今回私ども今年度中に計画を策定しなければならないという任務は受けておりますが、少しでも多く回収させていただくような努力はさせていただきたいと思っておりますけれども、一応、アンケートのほうにも回収期限ということで、7月末を予定しておりますので、本日ご了承いただいたアンケートにつきまして、発送のほうなるべく早く出してその回収率を上げたいというふうにも考えております。以上です。
中原会長	どうもありがとうございます。どうぞ。
三橋委員	これ1000件で回収300ということなんですけど、だいたい返ってきたのは、何歳代が一番多いんでしょうか。だいたいその意見を参考にしているということなんだろうと思うんですけど。それとあと自殺対策を今回入れたということなんですけど、自殺が多いのは10代が多いのではないかなと思うんですが、その辺はどう考えていますか。
事務局（藤城）	<p>前回のですね、結果につきましては、一番多く返ってきたのは、60歳代が一番多く返ってきております。その次にと申しますと約半数になってしまいますが、50歳代ということで、返ってきた中の年齢分布といたしましては、そういう形になってございます。</p> <p>また、もう一つのご質問でございました、自殺の件数に関しまして年齢はというところのご質問なんですけれども、今現在、自殺の件数ということで厚生労働省ですとか、また人口動態のほうからの件数ですとか色んな統計的にも数字が出ているところはあるんですが、富里市に関しましては、29年度の実績でもですね、厚生労働省からの回答では、20・30代はいらっしゃいませんでした。29年中ですね、年度ではなく自殺に関しましては、1月から12月と年で捉えているようですよ。</p>

	<p>で、40歳代の方から1人、2人と、28年度につきましては6名、厚生労働省の結論では出ていますけれども29年中の件数ということでは、12名というような、まだ確定はしていませんけれども厚生労働省の件数というのは、いわゆる自殺の発見地という解釈で捉えているところがございます。人口動態のほうにつきましては、ちょっとまだ28年分の情報しかきてないんですけども、28年中の状況で9名ということで、富里市民の方、いわゆる富里住民の方ですね、住民登録している方、やっぱり年齢的には40歳代からというようなところでございます。説明は以上です。</p>
<p>中原会長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>すいません、補足でひとつよろしいですか。私のほうで、自殺の状況につきましては、県の資料などで調べてみたところなんですけれども、富里市におきましては、全体的にそうだと思うんですけども、男性よりも女性が少ない傾向にあるようです。あとは、若い39歳までの若い年齢層に関しましては、女性のデータなんですけど、これは県下でも下から数えて5番目に入るような状況で、富里市は低い位置で分布をされているようです。データの的には22年から27年までの累計の自殺者数というかその数を取りまとめたものの結果でみますと、管内では、管内といいますか県内でも下から数えて5番に入るくらい、若い女性の層に関しましては、低いところのデータが出ております。今後、28年以降につきましては、まだ結果が出ておりませんが、県のほうで資料を見せていただいたところだとそのいう結果がでておりました。</p>
<p>中原会長</p>	<p>ありがとうございます。何か他にございますでしょうか。どうぞ。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>あの、私初めてこういうのをやらせてもらうんですけど、このアンケート調査、ぱっと見たとき、ああよくできているなあと、すごくこう健康についてあるいは、自殺とかについてもよく書けているなと思ったんです。だいたい20分くらいかかりましたね、自分でもし、やったらですけども。内容すごくいいなと思ったけれど、回収率さきほど質問しましたけど、回収率は50%以上やるにはどうしたらいいんだろうなとちょっと考えたんですね。そしたらやっぱり何かご苦労様、アンケートありがとうございます、助かったよ、というものが欲しいなと思ひまして、そのためにはですね、ま、私的には、2つ考えたのは、産直センターありますよね、その500円券、商品を500円で買えるような券を添付しまして、あとで送るの大変ですから、もう予め添付してそれで発送すると。で、恐らく、あのこれもらった人でも使わない人が結構いると思うんで</p>

	<p>すよ。あの、期間を決めておけば、いついつからいついつまでに使ってくださると、それでだいたい返ってくるのが70%として700件、実際使う人は500件、500円だったら25,000円でだいたい済んじゃうかなと。でも、まあ、予算が無いと言われそうですから、あとですわね、最初からアンケートに使えるようにここに富里市のネームか何か入れてボールペンを一緒に入れて送る。の2つしか私、アイデアとしては浮かばなかったんですけども。回収率をよくするための1つの方法として考えてみました。</p>
<p>中原会長</p>	<p>皆さん、どうでしょうか。</p>
<p>三橋委員</p>	<p>その回収率をあげる中に、私思ったんですけど、私の母親のところにもこういうアンケートが前90以上で来たんですね。見てもわからないって言われたんです。で、これどうすればいいって言われて、私が書いた記憶もあるんですけど、でも結局その本人の意見ではないんですけどもね。先ほど60歳代・50歳代が多いですよって仰ったんでやっぱりある程度、下を20歳って決めたとであれば、上も例えば年齢で切っちゃったら悪い、申し訳ないかもしれないんですけども、例えば90過ぎた人がこういうのを書いてくださいよって広げて、いちいちこういう答えるっていうことは、まずちょっと不可能っていうか面倒くさいっていうものもあるし、見るのも見えないよっていうのがあると思うんで、その辺は上もちょっと切ってもいいのかなっていう考え方があるんですけど、いかがでしょう。</p>
<p>中原会長</p>	<p>みなさん、いかがでしょうか。事務局もどうでしょうか。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>実は、あの年齢を抽出にかける時に年齢を今までも上限については区切っていない状況でして、今回も一応、案としては区切らないで抽出をかけようかなというふうには考えてはいたんですが、あの、実は集計のところですね、今日皆さんにお配りしている14ページのところ、14ページあなたご自身のことについてというところで、12番の75歳から79歳以降のところは第一次計画の時には75歳以上で取りまとめてしまっていた経緯がございます。あの今は後期高齢者のところをひとまとめにするということ自体が、統計の集計としてはあまり良くないんじゃないかということで、意見もあったものですから、ここを3区分に分けさせていただいたということもございますので、お答えづらい、それからちょっと見にくいという点は確かにあるかと思うんですけども、高齢者の幅もだいぶ広がってきておりますので、できればこの年齢区分をですね、細かく区切った集計をさせていただく観点から考え</p>

<p>中原会長</p>	<p>まして、上限をですね、例えば85で区切ってしまったりすると、この85歳以上という区分がもう無くなってしまうわけですので、案としては上限をできるだけ区切らない形でやらせていただければというふうに考えている次第でございます。以上でございます。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>半田委員</p>	<p>よくアンケートの中にね、確かに今、藤田さん言ったみたいに、家のお袋のところにも来たことあるんですよ。結局自分で書けないんで、俺がお袋に聞いて書いてあげたのね、そういうのが確か入ってますよね一部ね、本人が書けない場合は本人から聞き取りをしてどなたかが書いてくださいと。そういうのを一筆入れておけばいいと思いますね。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>はい。あの一応こちらの表紙のページのところに記入にあたってのお願いのところに一応、お答えの仕方ということで、できるだけご本人がというふうには書いてるんですけども、ここに一筆加えるとすれば、ご無理な場合にはご家族等にお手伝いしていただいてということで、入れることは可能だと思われまますので、このところは、皆さんのご意見をいただいてですね、反映させていただければと思います。</p>
<p>中原会長</p>	<p>どうもありがとうございます。恐らくこれ、意識の問題だと思うですよ、恐らく20代30代でご自分の健康のこと考える方ほとんどいないと思うんですよ。多分50代60代70代になって初めてこういう意識が芽生えるんじゃないかと思うんですよ。ただ非常にご努力だと思います。大変なことだと思います。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、裁決を取ります。</p> <p>健康増進計画（第2次）策定に伴うアンケートについて、異議なしということよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（藤田）</p>	<p>ひとつよろしいですか。先ほど石橋委員のほうからご提案をいただきました回収率を上げるということでご意見をいただきましたが、それについて事務局から何も申し上げてなかったと思いますので、本当に貴重なご意見でありありがとうございます。私どももやはり回収率を上げる工夫というのがどうしても必要になって形で考えている次第なんです、あの、よくある方法としまして、ご協力いただきましてありがとうございますというようなハガキをですね、趣旨を含めたハガキを半分ちょっと催促のような形でまだご記入いただいてない方につきましては何日ま</p>

	<p>でお願いしますといった形で、あの今までやっている他の計画なんかでもよくやられている方法はあるんですけども、ちょっと確かに予算も伴ってしまう点もございますので、充分こちらのほうでも検討させていただきたいと思います。ちょっと結果につきましては、ここで申し上げることが申し訳ないんですが、できないんですが、貴重なご意見なのでこちらの方では検討させていただきたいなと思っております。よろしくをお願いします。以上です。</p>
半田委員	<p>今言った500円だと25万円になっちゃう。石橋さん25万円だからね。だから、もし予算が数万円も付くのであれば返答してくれた方には抽選で500円券を差し上げますみたいのを一筆入れておけば、それでも少しはやる気が出ると思うんだよね。予算の範囲内でやれるだけやられたほうがいいんじゃないかと思えますけど。</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございます。</p>
中原会長	<p>他にご意見はいかがでしょうか。ありがとうございます。 本日の議題は以上でございます。ご協力ありがとうございます。</p>
事務局（原）	<p>中原会長、ありがとうございました。</p>
	<p>続きまして、「6 その他」でございますが、事務局より皆様にご説明したいことがありますので、事務局お願いします。</p>
事務局（藤城）	<p>はい。恐れ入ります。皆様お手元に事前にお配りさせていただいておりますが、平成30年度富里市健康増進計画等策定スケジュールという一枚ものをですね、ご覧いただければというふうに思います。着座にてご説明させていただきます。</p> <p>今後のスケジュールということでご説明させていただいております。先ほどもお話しさせていただきましたが、今回第2次健康増進計画につきまして、今年度中に策定を予定しております。そのことから皆様方ですと、大変誠に申し訳ございませんが、昨年までは1回程度のお集まりというような会議をやらせていただいたところを、ご覧いただいたようにですね、まず6月1日は本日ですけれども、8月には例年実施させていただいております、私ども健康推進課の事業につきまして前年度の報告、また今年度におきます計画等々をですね、ご説明させていただいてご審議していただけたらというふうな予定を考えております。</p> <p>また、11月にですね、今回アンケート出させていただきますけれども、それに基づいてですね、私ども計画の素案このくらいにできたらと</p>

	<p>いうふうに考えてございます。その素案、ご審議いただいたうえでですね、私どもパブリックコメント、市民の方からのご意見を頂戴したうえで、なんとか2月ぐらいにですね、完成版ということで、パブリックコメントの結果を踏まえたもので最終的でご確認ご審議いただけたらというふうに思っております。</p> <p>例年に加えてですね、お集まりいただかなきゃならないという回数がかかなり多くなってしまっているところがございますけれども、皆様ご多忙の中ですね、大変誠に恐縮ですが、よろしくお願ひしたいというふうに思っております。</p> <p>また先ほども申し上げましたけれども、今回の先ほどご審議いただきましたアンケートにつきましては、6月の遅くとも中旬くらいまでにはお送りさせていただいて、7月31日を回収期限ということで業務のほう進めさせていただきまますので、今後ともひとつよろしくお願ひ申し上げます。説明は以上です。</p>
事務局（原）	<p>ただ今の事務局の説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。</p>
事務局（藤城）	<p>申し訳ございません。説明が足らなくて申し訳ございません。一応ですね、8月、11月、2月ということで日にちのほうを書かせていただいておりますが、現時点での予定ということでご理解をいただければというふうに思います。本日の会議と同じような形ですね、約1ヶ月くらい前には、委員皆様のご都合をお電話で事前に確認させていただいたうえで、正式な日にちにつきましては設定させていただいて、ご通知させていただきたいと思っておりますので、よろしくひとつお願ひいたします。</p>
事務局（原）	<p>皆様、何かご質問等ございますでしょうか。皆さんからご意見あればどうぞ。</p>
川嶋委員	<p>あの、ちょっとお伺ひしたいんですけども、あの前回平成26年から30年度の、まだ30年度途中だと思っておりますけれども、この健康増進活動計画書が作成されてそれで毎年この審議会とかその辺を行われていると思っておりますけれども、この増進計画書に沿った、例えば生活習慣病ですか、その辺が減ってきているとか、禁煙外来の人数が増えているとか、事業所でいくと分室分煙の効果があるよとかその結果っていうのは把握されているのでしょうか。</p>
事務局（課長）	<p>すいません、それでは皆様の本日の資料の中の第一次計画、富里市健康増進計画こちらの資料はございますでしょうか。こちらのですね、中</p>

事務局（原）	<p>に、分野ごとの取り組みということで、27ページをお開きいただきたいと思います。</p> <p>この中で分野の1から7までございますが、分野の1のところでは29ページをご覧ください。分野の1 栄養食生活から始まるんですけどもこの中でですね、次のページ、31ページをお開きいただきますと、具体的なあの施策に関する数値の指標が設定をさせていただいております。で、食生活に関しましては、富里独自の指標といいますよりは、国とか県で健康日本21、または千葉県健康ちば21こちらで設定しております指標とほぼ比較できるように同じにしておりますので、県や国と比較した時にどのような富里市が状況にあるのかということについて今回の第一次計画の評価といたしまして、この30年度におきましては、評価する予定となっております。</p> <p>先ほど委員のほうからご質問がありました、例えばタバコの状況とかですね、その辺につきましても、53ページをお開きください。こちらが喫煙の分野の5ということになるんですが、次の55ページになりますと、こちらで喫煙に関する指標ですね、第一次計画の時の25年に策定した時に設定した項目になりますが、こちらについても平成30年度において今現在、市民がどういう動向になっているかということで評価をする予定となっております。また、あのタバコ対策につきましては、分煙化がかなりそのあとに進められておりますので、今回第二次計画におきまして、新たにまた指標を設定する可能性もあるかと思われまますので、そこにつきましては、本年度の策定の中で指標としてこういった項目を取り入れたらいいかということで検討したいと思っております。よろしくお願いたします。以上です。</p> <p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。皆様。特にないようですが、委員の皆様、今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の会議を閉会とさせていただきます。皆様、お疲れ様でした。</p>
--------	---